

TOYP

# JCI JAPAN TOYP 2019

## TIME SCHEDULE

- 8:30 開場
- 9:00 開演
- 9:10 異能ベーター紹介、表彰
- 9:30 TOYP入賞発表、表彰（協賛企業賞、奨励賞）
- 9:58 TOYP準グランプリ発表、表彰
- 10:10 TOYPグランプリ発表、表彰
- 10:23 応援ソング
- 10:30 閉演



# JCI JAPAN TOYPとは

## TOYP大賞(旧人間力大賞)とは

TOYPは、1938年に米国青年会議所によって始まったTOYM(Ten Outstanding Young Men=10人の傑出した(アメリカの)若者たち)が起源です。

国際青年会議所(JCI)では1983年からTOYP(Ten Outstanding Young Persons=10人の傑出した若者たち)が主要事業として始まり、現在はTOYP(The Outstanding Young Persons=傑出した若者たち)として継承されています。

日本青年会議所(JCI JAPAN)では、1987年からTOYP(The Outstanding Young Persons 大賞)として事業を開始し、2001年からは名称を「人間力大賞(青年版国民栄誉賞)」として、人間力あふれる若者たちを発掘し、その活動を広く発信する事業を継続して行なってきました。本年は名称を「JCI JAPAN TOYP 2019」として原点と本来の意味に立ち返り、環境、医療、経済、政治、科学技術、文化・芸術、スポーツなどのあらゆる分野において、社会に持続的なインパクトを与えることのできる可能性を秘めた傑出した若者(=すごい若者)を発掘し、更なる活躍を期待して国民全体で応援する機運を広めます。

そして、私たちJCメンバーとともに未来を担う20歳から40歳までのすごい若者たちを、JCI TOYPの日本代表として世界に向けて発信することで、日本のみならず世界をより良く変えていける人材へと導き、ひいては活力ある地域、国づくりへつなげます。



## TOYP選考基準

問題意識	問題意識を持ち自分自身のことだけでなく、社会全体の課題に挑戦しているか
創造性	自らの目的を達するために斬新な発想をしながら創意工夫を重ね、挑戦しているか
継続	自身の信念を強く保ち、活動を継続してきたか。また、将来継続的な活動が見込めるか
魅力	自身の存在が輝きを放ち、周囲に良い影響を与えていているか
感謝と責任	人に感謝し、自分自身のことだけではなく、社会全体への責任を引き受けているか
自己成長	その活躍が、自分自身を成長させているか
貢献	それぞれの分野を基本に人の幸福、社会の健全な発展、人類の進歩に貢献しているか
地域とのつながり	人や地域と結びつき、つながりを強化し広げているか
運動	その活動が人々へ意識喚起を促し、新たな変化を呼び起こしているか

## 賞の名称及び授賞者数

グランプリ 1名 副賞: 授賞者への活動支援金100万円

準グランプリ 2名 副賞: 授賞者への活動支援金30万円

入賞 7名 副賞: 授賞者への活動支援金10万円

## 【奨励賞】

内閣総理大臣奨励賞／外務大臣奨励賞／衆議院議長奨励賞／日本放送協会奨励賞／参議院議長奨励賞／総務大臣奨励賞／環境大臣奨励賞／全国知事会奨励賞／経済産業大臣奨励賞／日本商工会議所会頭奨励賞／文部科学大臣賞／厚生労働大臣賞／会頭特別賞

## 過去の著名な受賞者 これまでの著名な受賞者

- 橋本 聖子 TOYP大賞(1990年)
- 向井 千秋 TOYP大賞(1995年)
- 萩原 健司 TOYP大賞(1999年)
- 東 ちづる 厚生大臣奨励賞(2000年)
- 野田 聖子 エトバスノイエス特別賞(2000年)
- 沢田知可子 厚生労働大臣奨励賞(2003年)
- 陣内貴美子 文部科学大臣奨励賞(2003年)
- KOKIA まちづくり市民財団奨励賞(2008年)  
etc.

その他、海外におけるTOYM・TOYP大賞においても、ジョン・F・ケネディーやビル・クリントン、ベニグノ・アキノ、エルヴィス・プレスリーなど多くの著名人が受賞しています。

## 役員ご挨拶・選考委員紹介



### 選考委員長

#### 鎌田 長明

公益社団法人 日本青年会議所 第68代会頭

本年度、選考委員長を務めました第68代会頭の鎌田長明でございます。

日本青年会議所においては1987年より「人間力大賞(青年版国民栄誉賞)」として、人間力あふれる若者たちを発掘し、その活動を広く発信する事業を継続して行ってきました。本年度は原点に立ち返って「JCI JAPAN TOYP 2019」として開催し、日本全国からあらゆる分野で活躍する多くの傑出した若者たちからエントリーを頂き、各選考会を経てファイナリスト20名が決定しました。どの若者たちも今後の社会にインパクトを与える魅力溢れる活動をされています。本日の授賞式典では、ファイナリスト20名の中からグランプリをはじめ受賞者への表彰と活動の紹介を行います。この「JCI JAPAN TOYP 2019」の事業を通じて、全国の“すごい”若者たちの活躍の場を広げ、彼らをみんなで応援してまいりましょう。

### 1次選考アドバイザー



#### 高須 克弥 高須クリニック 院長

医学博士、昭和大学医学部客員教授、医療法人社団福祉会理事長、高須クリニック院長、浄土真宗僧侶。芸能を中心とした有名人の手術を数多く手がけた。国際美容外科学会会長および日本美容外科学会会長も務めた。

### 選考委員紹介(50音順)



#### 伊藤 圭志

一般社団法人世界を変える日本人は  
キミかもしれない代表  
ベトナムの国営会社で日本人旅行者の拡大  
を実現し、人材派遣会社として東海地区のト  
ヨタやホンダの製造業を支える。



#### 梅崎 健理

株式会社ディグナ 代表取締役  
17歳で「デジタルネイティブのスーパー高校生」と呼ばれ、高校在学中にディグナを起業した。2010年新語・流行語大賞トップ10「～なう」受賞。



#### 酒向 萌実

株式会社GoodMorning  
代表取締役  
家入一真率いる株式会社CAMPFIREで、ソ  
ーシャルグッド特化型クラウドファンディン  
グサービスをつくる。



#### 竹内 郁雄

東京大学名誉教授  
未踏事業プロジェクト統括マネージャー  
日本有数のLispハッカーの一人であり、多く  
のLisp処理系を実装している他、Lisp向け  
ベンチマークの竹内関数でも知られる。



#### 谷本 有香

フォーブス ジャパン副編集長  
兼 チーフコミュニケーションディレクター  
2004年に米国でMBAを取得。これまでに  
3,000人を超える世界のVIPにインタビュー  
した実績をもつ。



#### 西村 琢

ソウ・エクスペリエンス株式会社  
代表取締役  
大学在学中に株式投資クラブ「SYNC」を立  
ち上げる。松下電器主催ビジネスプランコン  
テストで勝ち抜いて世間から注目を集める。



#### 丸山 ゴンザレス

ジャーナリスト  
出版社勤務を経て独立。フリーのジャーナリ  
ストとして日本の裏社会や海外危険地帯の  
取材を重ねる。



#### 箕輪 厚介

株式会社幻冬舎所属  
編集者  
株式会社エクソダス取締役。  
オンラインサロン箕輪編集室を主宰。

# ファイナリストの活動紹介



▲ 職人に弟子入りできるワークショップ



▲ 古民家を活用した店舗

JETRO大連国際漁業博覧会ジャパンパビリオン設計競技最優秀賞  
第56回日本クラフト展入選

日本デザイン振興会グッドデザイン賞  
推薦:公益社団法人 となみ青年会議所



株式会社 コラレアルチザンジャパン

やまかわ ともつぐ  
**山川 智嗣さん**

日本屈指の莊厳な彫刻で知られる井波彫刻職人約200名が工房を構え、約250年の伝統を継承してきた地域で、体験型宿泊施設「ベッドアンドクラフト」を運営。宿泊施設内には彫刻作家の作品が並び、宿泊客の心を癒やし、魅了している。また、宿泊客は木彫刻・漆等の職人とワークショップも行い、職人との直接の交流の中で非日常を体験できる。職人が主役の町として魅力を高める取り組みは、国内外から注目を浴びている。

ー となみ青年会議所からの推薦理由

よそから井波という町に移り住み、「木彫刻のまち 井波」の日本遺産認定にもご尽力頂き、まちに影響を与え続けています。「ベッドアンドクラフト」の活動を基盤に、これからも職人の技継承、観光、まちづくり、ひとつくりにインパクトを与えてくれる可能性を秘めた、傑出した若者です。



▲ サンゴに優しい日焼け止め

2017年DBJ女性新ビジネスプランコンペティション ファイナリスト  
東京都女性ベンチャー成長促進事業 APT Women 第1期生  
2018生物多様性アクション大賞 審査員賞  
推薦:とやま54年会



ジーアールリー合同会社  
ごや ゆきの  
**呉屋 由希乃さん**

「サンゴに優しい日焼け止め」という海洋生物に害を与えない商品を開発し、そして「自然に配慮する」というメッセージの届く商品名で販売することで、持続可能な未来を見据えた行動を提起しています。日本では沖縄にほとんど生息するサンゴの話題は上がることはなく、サンゴへの踏みつけの害や日焼け止め等の水質汚染など、気をつけねば今すぐ対応できることがあるということを伝え、一人一人ができるアクションを呼びかけています。

ー とやま54年会からの推薦理由

「海を守りたい」という強い思いから、サンゴに優しい日焼け止めの販売を開始され、「海の大変さ」「自分と地球とのつながり」をテーマに全国で啓蒙販売され、人と自然の共存、海の豊かさを守る大切さを発信されています。また、女性起業家としての経験を活かし、女性活躍推進にも取り組まれています。



▲ パラオ共和国等海外にも販路を開く



▲ スタディツアーを実施



▲ 社会問題への関心を高める

総務省起業家甲子園日本一  
学生起業家選手権優勝

ビジコン奈良ベンチャー部門トップ賞  
推薦:一般社団法人 横浜青年会議所



株式会社 Ridilover  
一般社団法人 リディラバ  
あべ としき  
**安部 敏樹さん**

社会問題をツアーにして発信・共有するプラットフォーム「リディラバ」を2009年に設立。250種類以上のプログラム、10,000人以上を社会問題の現場に送客するほか修学旅行や企業研修などにもスタディツアーを提供。移住・定住ツアーの企画・運営や社会問題に特化したサブスクリプションウェブメディア「リディラバジャーナル」運営など、多方面から誰もが社会問題に触れやすい環境の整備を目指す。

ー 横浜青年会議所からの推薦理由

さまざまな社会問題の現場に実際に足を運ぶことで、社会への無関心の構造がどの問題の前にも存在することを感じ、この構造を変えない限り、どの社会問題も根本から解決することは出来ないと気付き、この構造を変えていくために起業し、これまでにやってきた安部氏の活動や実績は、SDGs11「住み続けられるまちづくり」の他、あらゆる目標達成に関わっています。

ForbesJAPAN

「新しいイノベーション!日本の担い手99選」

推薦:一般社団法人 横浜青年会議所



公益社団法人  
チャンス・フォー・チルドレン  
いまい ゆうすけ  
**今井 悠介さん**



▲ スタディクーポンを提供



▲ 学生ボランティアによる継続的な見守り

国内の教育格差を解消し、貧困の世代間連鎖を断ち切ることを目的に、貧困家庭の子どもたちに対して、学習塾や習い事等の学校外教育で利用できる「スタディクーポン」を提供する活動を行う。また、大学生ボランティアが毎月子供と面談を行い、進路相談等に応じている。8年間で東北や関西地域、延べ2000人以上の子供にクーポンを届けてきた。近年は大阪市や渋谷区等の自治体とも共同して事業を展開している。

ー 横浜青年会議所からの推薦理由

自ら阪神・淡路大震災を経験し、子どもたちにとって本当に必要な教育サービスを確実に提供するために、個人や企業等からの寄付金を原資に教育サービスに使えるバウチャーを提供する仕組みを作った実績は、今までの教育に一石を投じるものであり、社会的影響が大きいものであると言える。

## ファイナリストの活動紹介



▲「事業参加型クラウドファンディング式ファンクラブ」を設置



▲途上国の子どもたちへの給食支援



▲コミュニティ型のサッカー・スポーツグラウンドづくり



▲地域課題の改善にも取り組む

WWN2018受賞

EO GSEA グローバルコンテスト 日本代表  
キャンパスベンチャーグランプリ りそな銀行賞  
推薦:一般社団法人 横浜青年会議所



株式会社テーブルクロス

じょうほう かおる  
**城宝 薫さん**

お客様が飲食店を予約するだけで、途上国の子どもたちへ給食が届くという仕組みの飲食予約サービス「テーブルクロス」を立ち上げる。年齢や経済的余裕などに関わらず、「飲食店予約」という日常の何気ない行動が寄付に繋がるものであり、負担を極力無くしたこの「チャリティ予約」という新たな寄付モデルは日本全国で共感を呼び、累計23万食以上の給食を届けた。また、同時に飲食店の広告費の課題解決にもアプローチしている。

## 横浜青年会議所からの推薦理由

子供の頃の海外での学びをきっかけに、在学中に利益を創造しながら社会への貢献をする仕組みを作るため株テーブルクロスを創業。創業時の困難も乗り越え、社会貢献ができるグルメアプリを開発し、多くの支援を得ることを実現させ、SDGs1「貧困をなくそう」を始めあらゆる目標達成に貢献している。



▲ダンボールから財布を作成



▲世界中で活動を行う

推薦:一般社団法人 横浜青年会議所



しまづ ふゆき  
**島津 冬樹さん**

「不要なものから大切なものへ」をコンセプトに世界中の落ちている段ボールから財布を作る活動をしている。役目を終えると捨てられてしまう段ボール。しかし、よく見てみると豊富なデザイン、国ごとの違いなど、奥深い点がたくさんある。また、財布やワークショップ、映画などを通じて不要なものへの可能性を気付いてもらえたると思っている。昨今はリサイクルの先を行く、「アップサイクル」として注目を集めている。

## 横浜青年会議所からの推薦理由

段ボールのリユースという資源の再活用をビジネスとして形にされており、限られた資源を大切に十二分に活用する事を世の中に広めている。これはまさに持続可能な世界を実現する事に貢献している活動である。

2017年日本医療研究開発大賞

2018年日本学術振興会賞

2019年日本学士院学術奨励賞

推薦:一般社団法人 横浜青年会議所



東京医科歯科大学教授  
横浜市立大学コミュニケーションデザイン・センター長・特別教授  
たけべ たかのり  
**武部 貴則さん**



▲国内外で多数の表彰を受ける



▲広告医学で人々を健康的な行動へ導く

日本は超高齢社会へと突入し、現代医学もそれに即したものに変化しなければならない。生活習慣病の予防から、難治疾患に対する新治療の技術開発までを包括する新規学術体系の構築が必要である。この問題を広告的手法で人々を健康行動へと導き疾病を予防する広告医学の普及と、臓器再生医学の技術革新を軸に解決し、医学を産官民学が連携して社会実装して、全ての人々が健康に暮らせる社会の実現を目指し活動している。

## 横浜青年会議所からの推薦理由

最年少で横浜市立大学の教授に就任された日本が誇るiPS細胞技術の代表的な研究者です。また、治療を受ける対象が少ない再生医学の分野以外にも、全ての人が疾患にかかるないように啓蒙する広告医学という考えを普及すべく活動されています。

# ファイナリストの活動紹介



▲ デコ補聴器で補聴器のイメージの変革を



▲ 世界の難聴児に使わなくなった補聴器を寄付

## あいち補聴器センター

推薦:一般社団法人 岡崎青年会議所



## あいち補聴器センター

あまの しんすけ  
天野 慎介さん

地域社会の身近な難聴者の方に向けての聞こえの応援団活動に取り組んでいる。具体的には、補聴器イメージを変え、ネイルのようにデコレーションする「デコ補聴器」や日本語字幕のある邦画上映を通した「映画のバリアフリー」、音楽を楽しむことで難聴児と健聴児の垣根を取り払うイベントの開催等を行っている。難聴者の「あつたらいいな」を実現する一方、難聴障害と難聴者にとって視線を気にしがちな補聴器に対する地域社会のイメージと意識の変化を図っている。

## 岡崎青年会議所からの推薦理由

耳の不自由な方に対して新しい価値観や、周囲からの見え方の変革などに尽力されています。身体障害というネガティブなイメージを跳ね返すポジティブさと人間性に溢れるその人柄はまさに「人間力」そのものだと感じます。



▲ 企業行政の人材育成研修としても実施



▲ 1年毎にブラッシュアップ研修も行う

推薦:一般社団法人 広島青年会議所

NPO法人ママの働き方応援隊  
初代事務局長  
ママの働き方応援隊広島東校  
たかた ゆみ  
高田 裕美さん

様々な社会の問題(少子化・いじめ・ひきこもり・産後うつ・孤独死・自殺等)を母親自らの手で解決していく力をつける、「母親が仕事を通じて社会とつながることで成長する場」を提供している。代表的な取り組みの「赤ちゃん先生クラス」は、母親が赤ちゃんとともに教育機関・高齢者施設・企業・団体を訪問し、学び・癒し・感動を共有し、命の大切さ等の人として一番大切なことを感じてもらう人間教育プログラムとなっている。

## 広島青年会議所からの推薦理由

一人ひとりの母親が課題を解決するのは自分だとアクションを起こせば、日本は変わると信じ、母親が仕事を通じて社会と繋がることで成長し、様々な社会の問題を自らの手で解決していく力を付けるために活動されています。実際に活動をしているとまた子供が生みたくなる母親も増え、少子化問題や女性の働き方改革など、社会にインパクトを与える可能性を秘めています。



▲ 高千穂高校神楽保存会設立

推薦:一般社団法人 宮崎青年会議所



## 上田原神楽保存会

さとう りょうすけ  
佐藤 良亮さん

上田原神楽保存会に所属し、神楽を3代にわたり舞い手をしている。

また、後継の若者を育成していくため高千穂高校神楽保存会を設立、宮崎県知事に直接、神楽の伝承活動やそれを取り巻く状況を説明するなど、地域の宝である神楽を今後も伝承していくように取り組んでいる。

## 宮崎青年会議所からの推薦理由

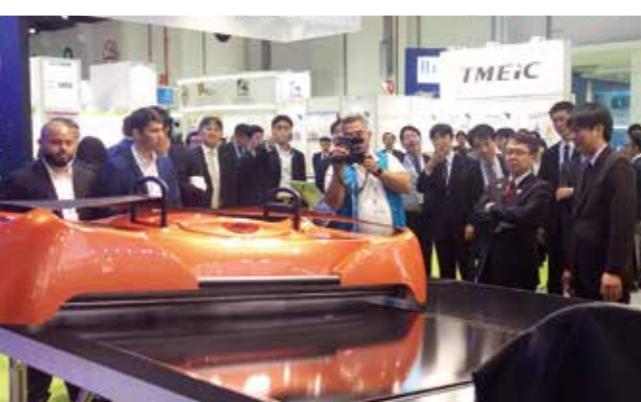
宮崎の郷土の宝である「神楽」を、将来にわたって伝承するため、三代にわたりて神楽を舞っている。  
また、神楽を将来に残すため、地域の若手育成も行なうなど、地域に持続的な影響を与え続ける活動を行っている。



▲ 自律的にソーラーパネルを清掃するロボットを世界で初めて実用化



▲ 知事とのふれあいフォーラム参加



▲ 世耕経済産業大臣に説明

## 2004年 キャンパスベンチャーグランプリ四国 最優秀賞

2007年・2018年 グッドデザイン賞

2008年 計測自動制御学会 SI2008 優秀講演賞

推薦:公益社団法人 高松青年会議所

株式会社未来機械  
みやけ とおる  
三宅 徹さん

在学中、屋外で使用できる次世代ロボットを開発・実用化するベンチャー企業を起業し、今年で創立15年目を迎える。中東インドなど乾燥地域むけのソーラーパネル清掃ロボットを世界で初めて実用化。四国電力等9社から合計約7億円の出資を得て、香川発のロボットテクノロジーを世界に展開中。

乾燥地域の太陽光発電を支え、低炭素社会と太陽光発電の安定化の実現、清掃作業員の労働環境の改善に寄与する技術の普及に努めている。

## 高松青年会議所からの推薦理由

誰も見たことがないような、未来のロボットをゼロから作りたい。そんな夢を実現するために学生ベンチャーを立ち上げた三宅様は、世界で初めて乾燥地域向けのソーラーパネル清掃ロボットを実用化し、香川の地から世界へと日本の技術を発信しておられます。

# ファイナリストの活動紹介



▲ 公演の様子

2012年 アジアデジタルアワード エンターテイメント部門 入賞  
2014年 Live Cinema competition,  
"Reykjavik Visual Music Puntoy Raya Festival 2014  
2017年 大阪ナレッジキャピタル主催 World OMOSIROI Award 3rd 受賞  
推薦:公益社団法人 高松青年会議所



usaginingen  
ひらいえみ  
**平井 絵美さん**



▲ 劇場広場

世界に一つしかない映像機と楽器を使った、映像と音楽のパフォーマンスユニット、usaginingenの映像担当、音楽は夫の伸一が担当。2016年に活動拠点をドイツ・ベルリンから香川県豊島に移し、劇場をオープン。これまでイギリス、カナダ、台湾、フランス、ロシア等21カ国54都市で公演。芸術祭、音楽祭、映画祭や教育機関(保育園～大学)等で幅広く活動中。現在は国内外の仲間と共に、皆が笑顔で自由に繋がる事ができる劇場広場も運営している。

## 高松青年会議所からの推薦理由

世界に一つしかない自作の映像機と楽器を用い、アナログとデジタルを独特の手法で組み合わせたusaginingen(ウサギニンゲン)のライブパフォーマンスは、見る者全てを幻想の世界へと誘います。豊島の豊かな自然環境の中、自給自足の生活を送りながらライブ活動を行い、地元民や観光客と触れ合う。自然と調和した新たなライフスタイルを確立し、何にも縛られない自分を表現する活動をされています。



▲ けっこう健康カフェ



▲ 健康のまちづくりアカデミー

推薦:一般社団法人 若狭青年会議所



高浜町健康のまちづくりプロデューサー  
福井大学医学部地域  
プライマリケア講座 教授  
いかいともき  
**井階 友貴さん**

高浜町に赴任以来10年間、町内病院・診療所の臨床業務にとどまらず、地域に出て住民有志団体の活動支援に尽力。2015年に健康的なまちづくりプロデューサーの委嘱を受け、ハーバード大学での経験を活かした健康的なまちづくりの取り組みを展開し、たかはまモデルとして注目される。

若狭青年会議所からの推薦理由

高浜町で精力的に活動されており、まちづくりを医療から持てる視点でアプローチし、青年会議所の活動にも深く通ずる内容で精力的に行動されています。



▲ 移住ドラフトを実施

推薦:公益社団法人 鹿児島青年会議所



一般社団法人  
鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab  
ながやま よしたか  
**永山 由高さん**



▲ 指名を受けた移住者が街の再生を主導

鹿児島市の中心市街地 天文館を拠点に、県内各地のコミュニティデザインを手掛ける法人にて、人口減少に向き合う地域のビジョンを住民と一緒に描き、その最初の一歩を踏み出す後押しをしている。2016年からは、県内の有志と連携して都市と地方の前向きなつながりの舞台として「移住ドラフト会議」を開催し、移住と観光の間をつなぐ仕掛けを作っている。これまでに4回開催し、20名を超す移住者を生み出してきた。

## 鹿児島青年会議所からの推薦理由

私たちが住み暮らす鹿児島でも人口減少や地域コミュニティの衰退など地方創生に関する問題が山積しております。その中で永山氏は、地域に密着し、独自の発想でその地域に住む人々が自ら考え具体的に行動するための取組みや、地域の外からの人財の受入を、エンターテインメントの要素を交えながら実現し、モデルケースとしている先駆者です。



▲ 寺でドローンレースを開催



▲ 様々なイベントを実施

推薦:一般社団法人 府中青年会議所



救護山 釈迦院 住職  
ふじいあきのり  
**藤井 昭徳さん**

高等教育・産業創出・文化形成を推進し、地域に航空技術大学の誘致を目指すふちゅう大学誘致の会の活動で、自らドローンレーサーとなり自坊を「ドローン寺」と名乗り、地域におけるドローンの文化形成に多大な貢献をしている。

世界初となるお寺の本堂内を会場にしたJDRA(日本ドローンレース協会)の公式レースを開催。国内初のマイクロドローン空撮コンテストも同時開催し、その優勝作品「釈迦院」が全国でもグランプリを獲得した。また、頻繁にレースや体験会を開催し、高校での通年講座、ドローンチームの結成、ドローン特化型ファブラボの開設など精力的に活動中。

府中青年会議所からの推薦理由

ドローンに関する取り組みは、我々、青年会議所が理想とする「明るい豊かな社会の実現」に向けて、地域において実際に良い変化を起こし始めている活動です。その中心で大きな推進力を作っている人物であり、今後もますますその影響力や社会に与えるインパクトが増していくであろう傑出した若者です。

## ファイナリストの活動紹介



▲ 遊休農地を活用した新しい産業を創出



▲ アートプラン21

2019名古屋人間力大賞 グランプリ  
推薦:公益社団法人 名古屋青年会議所



NPO法人若者自立支援塾ONESTEP  
かさま じゅん  
笠間 淳さん

三河湾の離島佐久島で、本土に住む不登校やひきこもり・ニートといった若者の力を借りて島おこしを行うことを主目的として活動。佐久島は人口が230名で高齢化率が約60%にも及ぶ限界集落だが、近年アートの島として年間10万人を超える観光客が訪れている。限界集落であるが故の人材不足が発生し、島外からのボランティアの方達と島民でうまく協働しているが、それでも人手不足は否めないため、本土で力を持て余している若者達を集め、島の振興の一助となるために2014年10月より佐久島で活動をしてきた。

名古屋青年会議所からの推薦理由

2019名古屋人間力大賞にて見事グランプリを受賞されました。引きこもりの若者を救い出すことにとどまらず、その後の生きていく力につけるということまでフォローする活動をされている一方で、その親しみやすいキャラクターで引きこもりというテーマを明るく取り扱っており、まさに人間力に溢れた方であると言えます。



▲ 小学生と一緒に和歌山ではたらく人をインタビュー



▲ 子ども達が自分のまちと自分の未来に希望が持てる社会を

推薦:一般社団法人 和歌山青年会議所



まちなか実験室こどもラボ  
おかざき だいすけ  
岡崎 大輔さん

小学生が「やってみたい!」と思ったことを、プロと協力して商品にして、社会に発信する課題解決型教育プロジェクトを実施。社会を生き抜く力と郷土愛を育むことを目的としている。2020年以降の小学校教育に導入される「主体的・対話的で深い学び」に対応している。

和歌山青年会議所からの推薦理由  
和歌山青年会議所主催の第22回アゼリア賞受賞者の活動支援として、当賞にエントリーさせていただきました。アゼリア賞受賞者が和歌山県内に留まらず、国内外を問わず活動を発信できればと考え推薦致します。



▲ 講演を通して子ども達の可能性と関わり方を伝える



▲ 様々な場所で公演を行う

2019名古屋人間力大賞 名古屋市長賞  
推薦:公益社団法人 名古屋青年会議所



NPO法人  
再非行防止サポートセンター愛知  
しぶや ゆきやす  
渋谷 幸靖さん

非行少年・少女の、一人一人の「本音と希望」を尊重しながら、再犯防止に取り組む。鑑別所、少年院に何度も面会に赴き、人間関係を築く。社会復帰後は、本音で話せる「信頼できる大人」として寄り添い、提携企業や専門機関とも連携をして、就労・就学のサポートを行い、交友関係のトラブルや親子関係の修復にも密に寄り添う。「やり方」ではなく「あり方」を大切にし、幸せへと導く。

名古屋青年会議所からの推薦理由

非行少年の再犯を防止するために、自らも非行少年であった経験を活かして活動されています。少年一人一人と丁寧に向かい、非行に至ってしまった背景を紐解いて、これからどうすればいいかということと一緒に寄り添って考えていくというその姿勢は、非行少年にとって非常に心強い支えとなるもので、非常に貴重な人財であると言えます。



▲ マイルプロバイダーのマイルをシェア



▲ マイルで取得できる特典航空席をシェアするサービス

推薦:一般社団法人 札幌青年会議所



株式会社 マイルシェア  
もりた のぶひろ  
森田 宣広さん

【使命】アイデアやアクションで自由な世界を創造  
【構想】自己資産(ポイント・マイル)の自由化  
【価値】世界中の人たちが有する資産を個人間で自由に有効的に流通させることができるプラットフォームを提供

自己資産の有効活用できていない不良資産(市場規模100兆円)をシェアリングサービスによって市場自由化すると共に、個人の不動資産の有効活用とポイント・マイル発行企業の法人運営上のリスクの解決の両側面を実現する。

札幌青年会議所からの推薦理由  
本年度札幌青年会議所でJAYCEE育成塾の塾長を担っており、多くのメンバーと関わり、メンバーに刺激を与える存在です。

SPECIAL GUEST

プレゼンター&応援ソング



hitomi  
(シンガーソングライター)

プロフィール

1994年にCDデビューし現在は3児の母および歌手として活躍中。

「CANDY GIRL」、「LOVE 2000」、「SAMURAI DRIVE」などのヒット曲を持ち、  
数多くのイベントに参加。

先日、6月28日には「LOVE 2020」をニューリリース！

彼女の歌詞は、同世代の女性から多くの支持を得ている。

今年秋、デビュー25周年を迎える。

主 催

公益社団法人 日本青年会議所

公益社団法人 日本青年会議所は、

「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、より良い社会づくりをめざし、

日本全国でボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいる青年会議所の

総合調整機関として1951年に設立。

国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、

世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

<https://www.jaycee.or.jp/toyp2019/>



JCI JAPAN TOYP

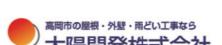
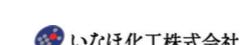
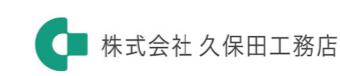
協 賛



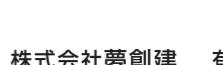
株式会社拓乃総庭 長岡工業株式会社



ヤヨイ化学株式会社



有限会社ビリオンコーポレーション



有限会社ヨシムラ工業